



市議会 だより

262

発行：東大和市議会

編集：広報委員会

〒207-8585 東大和市中心3-930

TEL 042(563)2111 FAX 042(563)5926

E-mail: gikai@city.higashiyamato.lg.jp

もくじ

ページ	
2	3月議会の議題から
3	市長施政方針に対する代表質問
4・5	30年度予算案に対する討論
5	市政を聞く① 【蜂須賀・根岸】
6	市政を聞く② 【大后・和地・上林・実川・中野・尾崎】
7	市政を聞く③ 【関田(貢)・佐竹・木戸岡・東口・荒幡・中間】
8	市政を聞く④ 【二宮・中村・森田】 陳情の要旨・委員会での議論①
9	委員会での議論②
10	一部事務組合議会報告・協議会報告 広域連合議会報告
11	議長が出席した会議・監査委員の活動内容 topicsあれこれ
12	議案等の結果・閉会中に行われた会議 ほか

3月議会の日程

2月22日	開会、市長施政方針表明・議案審議、陳情の付託など
27日	議会運営委員会 施政方針に対する代表質問
2月28日	
3月1日	2日 一般質問
5日	
6日	
7日	総務委員会
8日	厚生文教委員会
9日	建設環境委員会
12日	予算特別委員会
13日	
14日	予算特別委員会 議会運営委員会
16日	委員会審査報告・予算特別 委員会審査報告など、閉会

今号の主な内容

30年度市長施政方針に対し
各会派等が代表質問

3 ページ

30年度予算を可決
各会派等が予算案に対する討論

4・5 ページ

国民健康保険税条例の一部を改正する条例を可決

2 ページ

介護保険条例の一部を改正する条例を可決

2 ページ

民間保育園運営委託・補助事業費等を計上した
一般会計補正予算(第5号)を可決

2 ページ

国民健康保険制度の財政基盤強化を求める意見書を可決

2 ページ

たばこ対策についての意見書を可決

2 ページ

小平・村山・大和衛生組合に対しての「引き続きの
施設更新等に係る事務手続の透明化や情報開示を
求める意見書」、2件を可決

2 ページ

人権擁護委員の候補者の推薦に対し
小林行雄氏と野上ミチ子氏の再任を適任

2 ページ



街の ひとコマ

「雲性寺のボタン」

撮影：鈴木邦美さん
(芋窪在住)

撮影場所：雲性寺
(奈良橋1丁目)

HOT NEWS

3月議会の議題から

- 議案の結果については最終面の議案等の結果もご参照ください。
- 文中の条例・陳情などの名称は一部省略しています。
- 日付等については、3月議会時のものです。

国民健康保険税条例の一部を改正する条例を可決

東大和市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案が提案され、可決しました。

今回の主な改正点は3点あり、1点目は、税率等の改定です。国民健康保険制度の広域化に伴い、財政運営を担う東京都から、被保険者の人数、所得及び医療の水準によって算出された納付金が通知されます。あわせて、その納付金を納付するために、被保険者から徴収すべき保険料率として標準保険料率が東京都から示されるので、市

(9ページの関連記事)

介護保険条例の一部を改正する条例を可決

東大和市介護保険条例の一部を改正する条例案が提案され、可決しました。

今回の主な改正点は、第7期の介護保険事業計画の策定に伴い、平成30年度から32年度までにおける介護保険料の額、所得段階等の

(8ページの関連記事)

区分	改正後の保険料(年額)
第1号	31,200円
第2号	40,800円
第3号	45,600円
第4号	55,200円
第5号	62,400円
第6号	72,000円
第7号	79,200円
第8号	93,600円
第9号	104,400円
第10号	112,800円
第11号	122,400円
第12号	132,000円
第13号	141,600円

民間保育園運営委託・補助事業一般会計補正予算(第5号)を可決

民間保育園運営委託・補助事業費等を計上した平成29年度一般会計補正予算(第5号)案が提案され、全会一致で可決しました。

主な歳入については、「地方交付税」が、特別交付税の減額で、2千万円の減額、「国庫支出金」が、保育所委託費負担金の増額等による9433万4千円の増額、「都支出金」が、保育所委託費負担金の増額等による6668万8千円の増額、「繰入金」が、財政調整基金取り崩しの減額で、7893万5千円の減額、「諸収入」は、湖南衛生組合からの土地信託事業配当金の計上等による4772万9千円

主な歳出は、「民生費」が、基準単価の改定等に伴う運営費委託料の増額と保育士採用推進助成の対象人数の見込み増に伴う保育園運営補助金の増額、一時預かり保育補助金及び保育士等キャリアアップ補助金の増額等に伴う認定こども園事業費の増額、午睡時における安全確認用の機器に係る備品購入費の計上等による狭山保育園運営費の増額等による1億8954万3千円の増額、「土木費」は、駅前自転車等駐車場用地借上料等の減額等による3341万円の減額です。

国民健康保険制度の財政基盤強化を求める意見書を可決

本意見書を全会一致で可決し、内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、東京都知事に提出しました。

(意見書・要旨) 国民健康保険は、その制度の特性から、加入者の高齢化に伴い医療費が増大している。国保運営を都道府県単位に広域化する平成30年度からの制度改正に向けて、国民皆保険が安定的かつ持続的に運営できるような制度運営にあたっては、国及び東京都の財政支援が不可欠である。

国は、国庫負担割合の引き上げを含めた財政基盤強化策を一層充実させ、東京都においては、被保険者の保険料負担に配慮したきめ細かな激変緩和措置や低所得者に対する保険料負担軽減策など適切な措置を講じる必要がある。

よって、本議会は国及び東京都に対し、国民健康保険の負担軽減に向けたさらなる財政支援と方策を講じるよう、強く求める。

たばこ対策についての意見書を可決

本意見書を全会一致で可決し、東京都知事に提出しました。

(意見書・要旨)

- 1 たばこの有害性の理解に努めること。
- 2 公共の場の完全な受動喫煙防止が達成できるよう努めること。
- 3 子供たちへの、禁煙教育の徹底・充実に努めること。
- 4 家庭内や車中での受動喫煙防止対策の規制をしていくよう努めること。
- 5 IOCとWHOが合意した「たばこのない五輪」を東京都は推進し、飲食店においては、非喫煙者、妊婦、子供、がん患者等も利用する認識からも、都内飲食店全面禁煙に向け努めること。

小平・村山・大和衛生組合へ、引き続きの施設更新等に係る事務手続の透明化や積極的かつ正確な情報開示を求める意見書を可決

本意見書を全会一致で可決し、東大和市長に提出しました。

(意見書・全文) 小平・村山・大和衛生組合では、国の環境基本計画に示す「天然資源の消費の抑制と環境負荷の低減を目指した持続可能な循環型社会形成」を目指すため、小平市、武蔵村山市及び東大和市の望ましい循環型社会の形成に向けた3市共同資源化事業への取り組みと、耐用年数が迫っているごみ焼却施設の更新事務を進めている。

ごみ処理は、市民生活上、必要不可欠であり、発生抑制を図った上でも排出される廃棄物は、将来にわたり安定的に処理していくことが求められる。

とが求められるもので、必要な処理施設の整備を図ることは、3市地域の持続可能なごみ処理事業へ果たす役割は非常に大きい。

しかし、ごみ処理施設の施設更新には、多額の費用と時間を要するほか、広く市民の理解と協力が不可欠であること。また、平成29年第4回東大和市議会定例会において、29第9号陳情 小平・村山・大和衛生組合に対する陳情が採択されたことにも鑑み、東大和市においても小平・村山・大和衛生組合へ、施設更新等に係る事務手続の透明化や積極的な情報開示等に引き続き努めるよう、申し入れるものである。

小平・村山・大和衛生組合の、引き続きの施設更新等に係る事務手続の透明化や積極的かつ正確な情報開示を求める意見書を可決

本意見書を全会一致で可決し、小平・村山・大和衛生組合に提出しました。

(意見書・要旨) 小平・村山・大和衛生組合として、小平市、武蔵村山市及び東大和市の3市市民への施設更新等に係る事務手続の透明化や積極的な情報開示を求め、そのための部分については省略しています。

※意見書の要旨については、先の「小平・村山・大和衛生組合へ、引き続きの施設更新等に係る事務手続の透明化や積極的かつ正確な情報開示を求める意見書」と同内容は省略しています。

人権擁護委員の候補者の推薦に対し 小林行雄氏と野上ミチ子氏の再任を適任

平成30年6月30日をもって人権擁護委員の任期が満了となる小林行雄氏(こばやし・ゆきお 向原在任)の再任について、全会一致で適任としました。

小林氏は、5期15年にわたり人権擁護委員として御活躍され、相談者からの信頼も厚く、引き続き委員として推薦されました。

また、同じく平成30年6月30日をもって人権擁護委員の任期が満了となる野上ミチ子氏(のがみ・みちこ 狭山在住)の再任についても、全会一致で適任としました。

野上氏は、2期6年にわたり人権擁護委員として御活躍され、人望も厚いことから引き続き委員として推薦されました。

お二方も、任期は平成30年7月1日から33年6月30日までです。

市長施政方針に対する

代表質問

会派代表5名・無所属1名

3月議会初日に表明された平成30年度の市長施政方針に対し、議会各会派等が行った代表質問の要旨を掲載します。
なお、市長施政方針は市報(4月1日号)をご覧ください。

施策の効果を検証し、持続可能な市政の実現に向け、さらなる前進を期待

自由民主党・無所属の会
和地 仁美

問 総合教育会議で市と教育委員会が連携したことの利点を伺う。

答 市長の教育についての考えを教育委員会に直接伝え、共通認識を形成する場として機能している。引き続き、児童・生徒の学力向上や学習環境改善の議論を進める。

問 スクールサポートスタッフを全校に配置しない理由を伺う。

答 小学校1校に1人配置する予定だが、職員の負担軽減を図り、より児童への指導や教材研究等に力を注げるようにするものである。他校への配置は、今後の成果等を検証しながら検討していく。

問 市の魅力を高める施策の充実として、関東学院大学と取り組む政策研究について伺う。

答 平成30年度は、防災を課題とした政策研究を予定している。連携方法としては、まず学生に対して市職員が現況の講義を行い、その後、学生と担当教官による現場検証や研究を行い、最終的には市に対する政策提言を予定している。

問 特色ある公園の整備について進捗状況を伺う。

答 市民懇談会を10回開催し、市内公園の現状と参考となる他市の公園の視察などを実施した。今後選定を進め、早期にワークショップが実施できるよう努めていく。

問 協働のまちづくりの取り組みについて伺う。

答 緑の基本計画の改定における地域別の懇談会の開催や、コミュニティ交通の導入に向けた地域との検討など、引き続き協働のまちづくりに取り組んでいく。

問 友好都市の喜多方市との連携強化並びに教育的な効果も考え、喜多方米を給食で使用できないか。

答 現在、品質がよく、安定した供給が可能、前日精米であること等を理由として、埼玉県産または千葉県産のコシヒカリを使用している。喜多方米の使用については、情報収集し、検討していく。

住んでみたいまちNo.1東大和の実現へ 公明党の政策提言を執行せよ 中間 建二

問 ①市財政の健全化、②行財政改革の推進と市民サービスの充実、③防災対策の成果と実績を伺う。

答 ①市民サービスの向上を図るため、必要とする施策や課題に取り組む中、財政健全化による将来負担比率等の各指標の健全性を維持できた。また、積立基金は、目標額を定めた積み立てを行い、大規模事業等の財源として活用するなど、持続性のある財政運営に努めた。②住民票の写し等のコンビニ交付の導入、市税等の収納率向上、事務管理経費の節減等を行った。③この3年間で備蓄食料約2万4千食を増強し、各避難所用の間仕切り、乳児や更衣等に必要テナントの配備など、女性の視点を考慮した資機材の配備を行ったほか、全小学校、桜が丘市民広場及び二ツ池公園に災害対策用マシントイレを整備した。

問 学校トイレの洋式化を求める。新年度に三小、六小、七小に

答 10台ずつ計画し、一五小にも4台ずつ追加を計画している。また、全体的なトイレ改修について、学校施設の長寿命化計画との整合性を測りながら検討していく。

問 児童保育所の民設民営施設の開設による待機児童対策を伺う。

答 民設民営児童保育所の受け入れ人数を70人としていることから待機児童の解消が進むと考える。

問 旧みのり福祉園跡地を活用した子育て世代包括支援センター設置、発達相談支援センター、やまとあけぼの学園との一体的な運営整備を求めてきたが、現状を伺う。

答 やまとあけぼの学園の老朽化対策として、旧みのり福祉園の用地を有効的に活用し、子育て支援機能の集約化を図れるよう、規模、経費等の検討を行っている。今後は、国の施策の動向や将来の市の公共施設の総量の縮減と配置の適正化を踏まえ、市の実情に沿った施設整備の検討を行っていく。

問 観光・子育てアプリ「東大和スタイル」の見直しについて伺う。

答 大学生や子育て中の方に、実際に使用してもらい、使いやすさ等の検証を行い、見直し内容の詳細について検討していく。

問 学力向上に関し、「地域未来塾」の詳細及び効果を伺う。

答 小中学生を対象に、大学生や教員退職者など、地域の皆様の協力により学習支援を実施していく。学習習慣の確立と基礎学力の定着を図ることを目的とし、週2回程度の実施を考えている。

持続可能な市政の実現に向けた 重要施策と主な施策について伺う 興市会 大后 治雄

問 東大和元気ゆうゆうポイント事業の効果について伺う。

答 ポイントを付与する登録活動は49カ所、ポイントを記録する手帳の交付数も1千冊を超えた。介護予防活動の活性化に一定の効果が出ていると考えている。

問 うまかんべえ祭に関し、過去6回の開催で、市の魅力発信にどれだけの効果が得られたのか伺う。

答 平成29年度は過去最高の6万2千人が来場。ケーブルテレビの生中継もあり、市の魅力発信が大いに図られていると考えている。

格差と貧困が広がるもと、国民健康保険税や介護保険料の値上げに反対 日本共産党 尾崎 利一

問 市民の暮らしの認識を伺う。

答 物価上昇に賃金上昇が追いついていないが、景気回復を少しずつ感じ始めているのではないかと感じる。暮らしを守る立場で消費税の増税に反対すべきではないかと考える。

問 一定の財源確保が必要だ。

答 国民健康保険税や介護保険料は値上げすべきでないが、伺う。

問 改定は必要。改定に取り組む。保育需要について「市の環境整備を上回る動向」とし、低賃金等による保育士不足も示唆した。公立認可保育園増設こそ、問題解決の鍵ではないか。

問 総合的に研究する必要がある。ちよこバスへのシルバーパス導入協議を進めるべきでないか。

答 シルバーパス導入は困難。廃プラ施設の都市計画手続き中止陳情の採択にも関わらず、市長は強行した。見解を伺う。

問 日常生活に不可欠な施設だ。市議会は委員会や特別委員会もインターネット映像配信できるように約45万円の予算要望をした。前向きな対応を求めるがいかがか。

答 今後の課題として検討する。

持続可能な自治体経営の具体的な計画と市民への説明責任を問う やまとみどり 床鍋 義博

問 図書館等への常時学習スペースと、水筒・ペットボトルの持ち込みやグループ学習ができる環境を整え、また利用者のため周知を図るべきではないか。

答 中央図書館では、会議室を自習室として開放する試みをしているが、利用者がふえていない。水分補給の方法やグループ学習等についても、今後検討していきたい。

問 東大和市総合福祉センター

答 はくとふるは、福祉関係者から使いにくいという声もある。今後の施策について伺う。

問 基本計画で定めた相談支援や日中活動の場の支援等の10事業が適切に実施されるよう支援する。

問 建物やインフラの更新計画と市民への説明義務について伺う。

答 「東大和市公共施設等総合管理計画」を策定した。パブリックコメントや市民説明会を実施する。

事業を見直し、市民と行政が一緒になって 魅力あるまちづくりを進めるには 無所属 実川 圭子

問 「日本一子育てしやすいまちづくり」の実現に向け、他施策と一体的に行うことだが、全ての部で行うことになっているのか。

答 一体的に取り組むことの必要性を共通理解し、連携をとりながら各施策に取り組んでいる。

問 緑の基本計画にグリーンインフラの視点を入れれば、集中豪雨などの浸水対策になると考えるが、緑地の保全や緑化の推進をはかるなど、グリーンインフラの視点を持つことは重要と考えている。

問 市民参加・協働による行政運営を進めるためにも、市民提案事業の導入などの考えは。

答 市職員の市民協働の推進に関する指針に照らして研究していく。

平成30年度6会計予算を可決 5会派・無所属1名 予算案に対する討論

平成30年度一般会計・5特別会計予算案は、予算特別委員会で3日間審査したのち、最終日16日の本会議にて採決を行い、一般会計予算、国民健康保険事業・下水道事業・介護保険事業・後期高齢者医療特別会計予算を賛成多数で、土地区画整理事業特別会計予算を全会一致で原案どおり可決しました。
採決に先立ち5会派の代表者と無所属議員1名が、予算案に対し討論を行いましたので、その要旨を掲載します。

【予算特別委員会】
(開催日)3月12・13・14日
(委員長)和地 仁美
(副委員長)実川 圭子



市民の暮らしを顧みぬ負担増に反対し、

予算組み替え動議を提出

日本共産党 森 田 真 一

一般会計予算及び国民健康保険、下水道、介護保険、後期高齢者医療の各特別会計予算に反対する。市はこれまでも駐輪場全面有料化など相次ぐ負担増によって、市民の暮らしの厳しさに追い打ちをかけた。6年連続で国保税を値上げし、保険料水準は現行の1.4倍にし、加えて介護保険料約1億2千万円以上の値上げも行う。当市議団は、今までどおり国保会計への繰り入れを行えば、国保税の値上げは必要なく1人5千円の値下げが可能。介護保険料の前回の値上げは過大な給付を想定し、必要がなかった。今回も介護給付等準備繰入金を増額すれば値上げの必要はないと指摘し、予算組み替え動議を提出した。

一方、NTT・東京ガス・東京電力3社だけが、道路占用料で毎年2千5百万円超の引き下げの恩恵を受けている。他会派と協力し、もとに戻す条例改正案を提案する。また、小中学校の非構造部材の耐震化や、小学校特別教室のクーラー設置、就学援助の新入学用品費の入学前支給は、来春の小学校新1年生への適用拡大など、当市議団が要求した暮らしを応援する施策の実現を歓迎する。
急増する待機児の解消に認可保育園新設を求める。市が従来の認可保育園は新設しない方針の見直しに言及したことは重要だ。
国・都・市有地の活用は大詰めだ。市民の福祉の向上に、フル活用するよう求める。

子育てから介護まで「大衆福祉」の充実で

住みよい東大和市に

公明党 東 口 正 美

公明党を代表し、平成30年度東大和市一般会計予算及び5特別会計予算に賛成の立場で討論を行う。歳入では、地方消費税は減収都の交付金増額分を足しても、社会保障費不足が生じ、財政調整基金の繰り入れがなされている。今後、国・都の情報収集し、市の施策充実の取り組みを要望する。歳出では、保育事業の充実で、117名分の保育定員拡大を評価する。今後は保育の質の確保を要望する。また、切れ目のない子育て支援のかなめとなる、母子保健コーディネーターの配置を評価する。

旧日立航空機株式会社変電所の保存では、改修工事の基本設計が行われることを評価する。多額の経費が必要になるが、平和への思いは戦争のない世界の礎になる。湖畔通りの桜植えかえ、狭山緑地管理事務所の建て替え、公園等のLED化調査を評価する。

高齢者及び障害者の介護者へのケアラー支援、B型肝炎任意予防接種費用の助成金交付を評価する。桜が丘市民広場のトイレ等の整備、学力向上のための地域未来塾学習のつまずきに対応する学力検査、少人数学習、チームティーチャー等の学習支援、不登校支援コーディネーター等の取り組みを評価する。

国民健康保険事業では、広域化への制度変更が行われたが、引き続き、レセプトデータを活用した重症化予防対策や特定健診受診率向上の取り組みを要望する。

尾崎市政2期目の最終年度を飾るにふさわしい、

実り多き施策の展開を期待する

自由民主党・無所属の会 根 岸 聡 彦

自由民主党・無所属の会を代表し、平成30年度東大和市一般会計予算及び5特別会計予算に、賛成の立場で討論を行う。

歳入は、503億2千5百万円で、前年度より18億8千万円の減収。歳入の減少と必要経費の増加、平成30年度はこの相反する2つの課題を乗り越えなければならない。歳出では、総務費において、人口減少の抑制を目的として、シニアプロモーションや結婚支援事業を実施するが、具体的な目標値を示すことを要望する。

民生費では、市長が最重要施策と掲げる「日本一子育てしやすいまちづくり」の実現に向けた取り組みとして、保育士の方に長く働いていただけるような、また子育て

て世帯に保育園の心配がなくなるような施策の展開とPR活動を要望する。また、元気づゆうポイント事業を初めとした高齢者介護予防施策の充実も要望する。

衛生費では、清掃費が衛生費全体の64%を占めており、8万6千市民の廃棄物処理に支障を来すことのない取り組みを要望する。

土木費では、ちよこバス運行に際して、市のイベントに合わせた臨時便の運行等を検討し、補助金縮減に向けた努力を要望する。

教育費では、小学校トイレ洋式化を5校で行うことを評価し、平成32年度までに50%の洋式化が着実に実施されることを求める。

下水道事業特別会計については、経費回収率の早期改善を要望する。

積極的に施策の選択と集中を進め、

持続可能な市政を実現せよ

興市会 関 田 貢

興市会を代表し、平成30年度東大和市一般会計予算及び平成30年度東大和市国民健康保険事業特別会計予算・東大和市下水道事業特別会計予算・東大和市土地区画整理事業特別会計予算・東大和市介護保険事業特別会計予算・東大和市後期高齢者医療特別会計予算の5特別会計予算に、賛成の立場で討論を行う。

今回提案された予算では、市のブランドメッセージの活用等によるシニアプロモーションや市税のクレジット納付の開始、民間保育園の保育士等の確保対策や、民間学童保育所の運営補助、そして都市計画道路の実施など、これら全て持続可能な市政の実現に向けての施策であると認められるところ

であり、評価をする。そのほか細かく言えば、東大和元気づゆうポイント事業の引き続きの実施や、骨髄バンク制度の普及啓発、防災行政無線のデジタル化や地域未来塾の事業の推進小学校全校における校門等に設置している防犯カメラの更新なども評価する。

ただし、一方で「あれがこれか」の視点をもっと推し進め、施策の積極的な取捨選択と人的、物的資源の集中をすべきだ。

また、目前に迫った国民健康保険の広域化においては、しっかりとした対処をお願いする。

最後に、引き続きさらなる尾崎市長のリーダーシップの発揮を求め、討論とする。

情報公開の推進と説明責任の徹底を図り、

市民の理解と信頼を

やまとみどり 床 鍋 義 博

やまとみどりを代表し、平成30年度東大和市一般会計予算及び5特別会計予算に賛成の立場で討論を行う。

市長は、開かれた市政の実現のため、情報公開の推進と説明責任の徹底を図り、市民の理解と信頼を得ると述べていたが、(仮称)3市共同資源物処理施設建設については反映されていない。ただ話を聞くだけではなく、しっかりと市民の心を理解することで、行政への信頼感が高まると考える。

歳入については、厳しい財政状況において、市民税の収納率の向上及び滞納額を減少させるため日々努力していることを評価する。

歳出では、結婚50周年を祝う慶祝事業は、市が予算を使って行うべき事業ではないと考える。厳しい財政運営が続く中、優先度を考慮し、判断してほしい。

生活保護事務費・援護事業費では、ケースワーカーの人員が増員されていない。働きやすい環境整備をお願いしたい。

飼い主のいない猫対策について、これまで取り上げてきたことを反映されたものと評価する。

国民健康保険事業特別会計については、社会保険と比較して国民健康保険の負担が大きく、不公平であり、制度自体を見直す必要があると考えるが、制度に関する決定は当市で決められない。法改正により広域化が決まり、東京都の方針のもと、当市ではできる限りの予算編成をしていると判断する。

国民健康保険事業特別会計については、社会保険と比較して国民健康保険の負担が大きく、不公平であり、制度自体を見直す必要があると考えるが、制度に関する決定は当市で決められない。法改正により広域化が決まり、東京都の方針のもと、当市ではできる限りの予算編成をしていると判断する。

会計別予算額

(単位：千円)

会計名	平成30年度	平成29年度	増減額	増減率(%)
一般会計	30,390,000	30,467,000	△77,000	△0.3
国民健康保険事業特別会計	9,074,654	10,793,283	△1,718,629	△15.9
下水道事業特別会計	2,105,711	2,187,062	△81,351	△3.7
土地区画整理事業特別会計	168,503	121,514	46,989	38.7
介護保険事業特別会計	6,577,318	6,733,515	△156,197	△2.3
後期高齢者医療特別会計	2,008,826	1,902,406	106,420	5.6
合計	50,325,012	52,204,780	△1,879,768	△3.6

情報公開、説明責任、市民参加の行政運営がより一層進むことを期待する
無所属 実川圭子

一般会計予算及び5特別会計予算に賛成の立場で討論を行う。一般会計の主な補助金等の内訳表の書式を改正して、税金の使われ方を見える化したことを評価する。また、特別会計の基金積立残高状況の掲載を進めるよう求める。特色ある公園づくり等では、時間がかかっても、市民と行政が一緒につくり上げていくという方向も示された。そういった手法での取り組みを望む。計画の初期段階から、関係機関のみならず、市民

の皆様、特に関連の活動をしていく方々や、ボランティア、現場の職員、当事者の方々の意見を聞く懇談の機会を設けることを求める。各地域で空き家が自立つ。平成30年度は、空き家調査の予定はないとのことだが、多額の経費がかかるので、他の事業と抱き合わせでできないか研究してほしい。大きく制度が変わる国民健康保険事業特別会計では、説明不足の解消となる前向きな取り組みを求める。

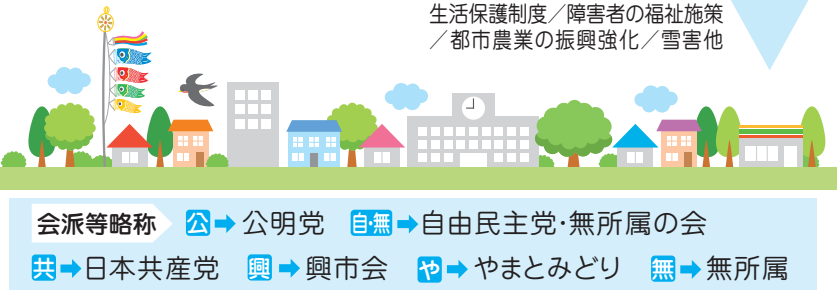
市政を聞く

3月議会 一般質問要旨

掲載は発言順

各議員が取り上げたテーマ

- 5ページ**
 - 自無 蜂須賀 千雅 大雪対策/落ち葉清掃における美化活動/都営向原団地創出用地
 - 自無 根岸 聡彦 スポーツに対する取り組み/ごみ行政/行政改革について
 - 自無 和地 仁美 食育/緑のまちづくりについて
 - 共 上林 真佐恵 学童保育所/子ども・子育て支援事業計画中間見直し/子育て支援
 - 無 実川 圭子 介護予防・日常生活支援総合事業/若者の心の健康づくりについて
 - や 中野 志乃夫 各種公的バスの連携/市有地の活用/障害者施策/専門職員確保と待遇
 - 共 尾崎 利一 6年連続の国保税値上げ/介護保険/国・都・市有地/桜が丘広場
- 7ページ**
 - 興 関田 貢 東大和市のまちづくりについて
 - 公 佐竹 康彦 向原所有地/子育て・若年世代に対する住宅・定住支援/福祉タクシー券他
 - 公 木戸岡 秀彦 ゴミ対策/特定健診・保健指導/市報配布/部活動/熱中症/老人クラブ
 - 公 東口 正美 重症化予防と医療費削減/防災フェスタを利用した防災対策の強化他
 - 公 荒幡 伸一 セルフメディケーションの推進/祖父母の孫育て/高齢者生きがいづくり他
 - 公 中間 建二 多摩都市モノレール延伸と地域振興策/東大和市駅周辺まちづくり他
 - 興 二宮 由子 男女共同参画社会の推進について
 - 無 中村 庄一郎 観光/教育について
 - 共 森田 真一 生活保護制度/障害者の福祉施策/都市農業の振興強化/雪害他



都営向原団地創出用地の北側及び南側について、今後の対応は、

問 都営向原団地創出用地の北側及び南側について、今後の対応は、

答 北側及び南側の創出用地を一体として、東京都と協議を行っていく。市としては、良質な住宅地の確保、また、東大病院の建て替え用地としての利活用も含め、市民にとって最適な土地利用になるよう、協議を行っていく。



都営向原団地の創出用地

北側創出用地は、東京都が

蜂須賀千雅 (自由民主党・無所属の会)

問 都営向原団地創出用地の北側及び南側について、今後の対応は、

答 北側及び南側の創出用地を一体として、東京都と協議を行っていく。市としては、良質な住宅地の確保、また、東大病院の建て替え用地としての利活用も含め、市民にとって最適な土地利用になるよう、協議を行っていく。

問 都営向原団地創出用地の北側及び南側について、今後の対応は、

答 北側及び南側の創出用地を一体として、東京都と協議を行っていく。市としては、良質な住宅地の確保、また、東大病院の建て替え用地としての利活用も含め、市民にとって最適な土地利用になるよう、協議を行っていく。

スポーツを通じて、地域の活性化を図り、市の発展につながる取り組みを

問 生涯スポーツ推進計画で、市が目指す姿について伺う。

答 学校やスポーツ団体との連携強化、子供のスポーツへの取り組み支援、高齢者や障害者のスポーツに積極的に取り組む。

問 第51回市町村総合体育大会について伺う。

答 今年の7月21日〜8月5日に開催され、多摩地域の全市町村が

問 生涯スポーツ推進計画で、市が目指す姿について伺う。

答 学校やスポーツ団体との連携強化、子供のスポーツへの取り組み支援、高齢者や障害者のスポーツに積極的に取り組む。

問 第51回市町村総合体育大会について伺う。

答 今年の7月21日〜8月5日に開催され、多摩地域の全市町村が



根岸聡彦 (自由民主党・無所属の会)

問 生涯スポーツ推進計画で、市が30年ぶりに幹事市を務めること、話題のスポーツを広めることは、スポーツ振興のみならず、まちの活性化につながるのでは。

答 スポーツには、まちを元気にする力があり、東大和市の認知度も向上すると考える。

問 平昌オリンピックで話題を集めたカーリングを東大和市から広める取り組みができないか伺う。

答 現在、スケートセンターとは連携しておらず今後の課題となるが、何ができるか探してみたい。

要望 推進計画では、市民の健康増進を図る施策を、第51回市町村総合体育大会は、幹事市として安全な運営を、カーリングは、市の活性化につながる連携を要望する。

問 生涯スポーツ推進計画で、市が30年ぶりに幹事市を務めること、話題のスポーツを広めることは、スポーツ振興のみならず、まちの活性化につながるのでは。

答 スポーツには、まちを元気にする力があり、東大和市の認知度も向上すると考える。

問 平昌オリンピックで話題を集めたカーリングを東大和市から広める取り組みができないか伺う。

答 現在、スケートセンターとは連携しておらず今後の課題となるが、何ができるか探してみたい。

要望 推進計画では、市民の健康増進を図る施策を、第51回市町村総合体育大会は、幹事市として安全な運営を、カーリングは、市の活性化につながる連携を要望する。



生産緑地の2022年問題について何う

大后 治雄 (興市会)

問 生産緑地の2022年問題について何う。

答 生産緑地指定から30年が経過すると、所有者は市町村に買い取り申し出を行うことができ、生産緑地の多くが2022年に指定から30年を迎える。市町村が買い取りに応じることができない場合は、指定解除によって多くの生産緑地が宅地化される可能性がある。



生産緑地地区

問 市の現状について何う。

答 生産緑地面積は44・63ヘクタールで、2022年に買い取り申し出が可能となる生産緑地は全体の65%に当たる約29ヘクタールである。

問 今後の展開を何う。

答 法改正により創設された営農義務を10年間延長する特定生産緑地の指定について検討を進めていくとともに、特定生産緑地に関する税制についても周知していく必要があると考えている。

要望 都市農業は重要だ。農地だけではなく、農業従事者の減少に歯止めをかけることが喫緊の課題である。情報収集を行い、他自治体におくれをとることのないよう、取り組みの継続をお願いする。

新学校給食センターも活用し、食育の充実を。緑のまちづくりは循環型の仕組みとともを進めよう

和地 仁美 (自由民主党、無所属の会)

問 市内各校の食育の状況は。

答 各校「食育の年間計画」を立てて実施している。また、食育推進リーダーという教員を中心に学校全体で評価、改善を行っている。

問 平成19年度から28年度の「教育委員会の権限に属する事務の管理執行状況の点検及び評価」を見ると、食育実施回数がゼロの学校と二桁の学校とバラつきがあるが。



要望 枝木や落ち葉、その他の廃棄物等、総合的に捉え、循環型の仕組みを構築して進めてほしい。

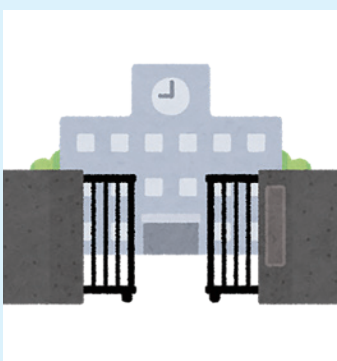
介護予防・日常生活支援総合事業、若者の心の健康づくりについて

実川 圭子 (無所属)

問 日常生活支援総合事業の住民主体B型について実施の考えは。

答 現在実施予定はない。コーデイネーターや協議体を整備して、その中で地域の課題とそれにマッチングする住民主体のサービスはどのようなものが検討していく。

問 サロン活動などを安定して継続していくためには、制度に位置づける必要があるのではないか。



答 来年度、都教育委員会から資料とDVDが配布され、小中学校でそれぞれ1時間、保健師等の専門家と連携し、授業を実施する。気軽に相談できる環境として、中学校でカフェ事業を行えないか。日頃の人間関係、信頼関係が大事。他地域での取り組みを参考に研究していく。

東大和市子ども・子育て支援事業計画中間見直し、給食の無償化について

上林 真佐恵 (日本共産党)

問 特に0〜2歳で保育需要が増えている、この傾向は、しばらく続くと考えるが、認可保育園の定員拡大と小規模保育所では限界があるのでは。認可保育園の増設に政策転換するべきでは。

答 将来的な保育需要や民間保育園の事業継続性、施設整備にかかわる財政負担、公と民との適切な役割分担等を総合的に検討している。

問 将来的な保育需要や民間保育園の事業継続性、施設整備にかかわる財政負担、公と民との適切な役割分担等を総合的に検討している。



要望 世帯での把握はしていない。他市では2千万円程度で実施が具体的な検討を要望する。

市有地の活用について

中野 志乃夫 (やまとみどり)

問 暫定的に活用されている市有地の場合、どのような活用の方向をしているのか。

答 活用例としては、自治会集会所、向原保育園、総合福祉センター等の用地として貸し付けを行っている。将来的に公用または、公共用の利用見込みがない土地は、売却処分を努めている。



向原保育園

問 建物に昔のプレハブで修繕も必要ということがあるが、基本的に市で建て替えるか検討する内容になっているのか。

答 基本的に建物は、40年以上たつて古いのが、建物自体を建て替えることは非常に難しい。できるだけ長く使っていくことを、今考えている。

要望 建て替える理由はない。予算的なものもあるので、今すぐに、それを建て替えることは難しいということをお答えさせていただいた。公共施設全体の建物の改修等を、現在、行っている最中であるが、そういった全体的な枠組みの中で考えていかなければいけない。

国民健康保険税の1.4倍化、6年連続値上げにも介護保険料値上げにも反対。社会保障の否定だ。

尾崎 利一 (日本共産党)

問 6年連続の値上げで国民健康保険税を1.4倍にするという大負担増は国民皆保険制度を壊すことになる。市民説明会の資料で、国保が抱える構造的課題として、高齢者が多いので医療費がかかるが、所得が低いと書かれている。国保の1人当たり医療費は健保組合の2.2倍、所得は41%、所得に占める保険料負担は1.7倍となっている。

この矛盾を解決するにはどうしたらいいのか何う。



要望 9千7百万円程度となる。値上げし続けてきた保険料を引き下げに転じさせることが可能だ。市長が判断すべきだ。介護保険料について、いただいた資料から値上げは必要ない。値上げしないことを求める。

東大和のまちづくりについて

関田 貢
(興市会)

問 行政がリードして東大和市駅前周辺地区の再開発をすべきでは。
答 地域における再開発の機運が盛り上がり、検討していく。
問 都市計画道路である、新青梅街道の歩道拡幅、桜街道の3・4・17号線の整備がはかばかしている。整備促進に努めるべきでは。
答 東京都の事業である新青梅街道の歩道拡幅は、上北台1丁目から



ゆりのき通り

ら武蔵村山の神明4丁目まで用地買収を行っている。東京都には整備促進を改めて要望する。また、3・4・17号線については、早期に着手して事業を進めていきたい。
問 新堀3丁目ゆりのき通りに信号機、横断歩道を設置すべきでは。
答 道路形態、交通状況等により、設置できないが、警察署を通じて東京都公安委員会に要望する。
問 芋窪地区にある東大和武蔵村山線の交差点の信号機が見づらい。新都市計画道路に横断歩道と信号機を設置して、改善できないか。
答 当該交差点は歩行者横断用信号機で、信号機のない交差点と同様の規制になる。十字路の交差点としての信号機は、警察署を通じて東京都公安委員会に要望する。

向原の都有地活用、B・I・D制度の検討、定住施策の推進、福祉タクシー券の配布について

佐竹 康彦
(公明党)



都営向原団地の創出用地

問 向原都有地への特別支援学校建設に際し、12月に市が都へ提出した仮要望事項について伺う。
答 都の建設基本計画作成に際し、事前に要望等を申し出る必要があり、未了承の中、仮要望事項を提出した。市民と市にとって有益な項目をあげた。雨水貯留施設の設置、体育施設の開放等である。
問 南側都有地の利活用について、

どのような見通しを立てているか。
答 都から具体的な内容は示されていない。東大和医師会から要望が出ているが総合的に考えていく。
問 ビジネス改善地区(B・I・D)制度の活用を検討してはどうか。
答 民間主体のまちづくりは必要で、今後の研究課題と捉えている。
問 市内の空き家等を活用し、子育て世帯や学生等に定住してもらう施策展開を図ってはどうか。
答 子育て世帯の定住を進めていることから、空き家調査、人口減少への対応や実施中の子育て支援施策と連携しながら研究していく。
問 福祉タクシー券を半年ではなく、年一回の配布にできないか。
答 予算の適正執行と利用者の利便性等を勘案して研究していく。

ゴミ対策、特定健診・特定保健指導、市報の配布、熱中症対策、老人クラブについて

木戸岡 秀彦
(公明党)

問 トトロのふるさと基金が環境保全のために取得している、多摩湖周遊道路周辺の不法投棄根絶に向け①防犯カメラの設置②市民に呼びかけて清掃活動ができないか。
答 ①有効な手段であると認識している②監視という抑止力を含めた中で活動できればと考えている。
問 特定健診等受診率向上のため①元気づけゆうポイントの付与②



休日実施③広報強化ができないか。
答 ①効果的と考えているが、まずは体育館の一時利用券の配布を予定している②現状課題があるため、今後、実施方法を考えていく。③国民健康保険制度を特集した広報を全戸配布する予定である。
問 市民サービス向上のため、市報の全戸配布はできないか。
答 現状、作業上の課題があるため、検証・研究している。
問 熱中症予防のため、学校の体育館に熱中症計を設置できないか。
答 校長会等に情報提供を行い、必要であれば購入していく。
問 老人クラブの補助金は、会員数に応じて配分できないか。
答 各市の状況に応じた交付方法があると認識している。

重症化予防と医療費削減、防災フェスタ、市庁舎の安全性・利便性・市民サービスの向上

東口 正美
(公明党)



東大和防災フェスタ

問 生活習慣病重症化予防のこれまでの取り組みの効果を伺う。
答 平成25年度よりレセプトデータを利用した糖尿病等重症化予防では、被保険者の健康の保持・増進及び医療費適正化の財政的効果があった。
要望 ハイリスクな方への対応を行うとともに、ポピュレーションアプローチとして、広く多くの市民

民から健康に目を向けてもらえるような取り組みを行ってほしい。
問 防災フェスタのこれまでの成果と課題、また、自助を啓発する取り組みの必要性についても伺う。
答 防災講演会から防災フェスタに変えたことで参加者が増加したが、実施内容の固定化傾向があることから事業目的に合致した内容への見直しが必要である。自助啓発強化の取り組みを研究していく。
問 市庁舎の安全性・利便性についての認識を伺う。
答 平成28年度に耐震補強工事を行った。今後は給排水及び衛生設備等の更新計画を検討していく。
要望 市庁舎の安全性・利便性・サービス向上の課題と見通しを持って、迅速な取り組みを要望する。

セルフメディケーションの推進、祖父母等の積極的な子育て、大雪による除雪対応について

荒幡 伸一
(公明党)

問 医療費控除の特例であるセルフメディケーション税制の目的や効果について伺う。
答 適切な健康管理の下で医療費、医薬品からの代替を進める観点から創設され、国民の自発的な健康管理や疾病予防の取り組みを促進することから、医療費の適正化につながる効果が期待される。
問 孫育てをする人に正しい知識



を身につけてもらい、かわりやすくするために「祖父母手帳」の導入が必要だと思いが見解を伺う。
答 多様な就労形態から子育てにかかわる祖父母の援助が重要だ。現在の子育ての常識を祖父母世代が共有することで、祖父母だけでなく地域でのシニア世代による子育て支援がより円滑に進むことが考えられる。さまざまな広報手段の一つとして情報収集に努めたい。
問 除雪対応の内容や作業する上での優先順位について伺う。
答 東大和建設同友会に除雪を要請し、市内北部急坂の幹線道路等を中心に機械による除雪を行った。また、職員を動員し、人通りの多い歩道を中心に手作業による除雪作業や凍結防止剤の散布を行った。

東大和市駅周辺の整備、ウォーキングと食を通じた健康づくりの推進を求める

中間 建二
(公明党)



東大和市駅前広場

問 現在の東大和市駅前広場は、整備されてから30年が経過しようとしている。魅力あふれる東大和のまちづくりのために、東大和市駅周辺のまちづくりに力を入れて取り組むことを望むが、見解は。
答 市の玄関として、ふさわしい機能整備を検討する。既存施設の適切な維持管理や、既存ストックの有効活用による機能整備などの

検討が必要であると考えている。
問 健康ウォーキングマップの活用状況と今後の事業展開は。
答 市内公共施設や各種事業で配布している。市民の運動習慣の定着を進めるため、関係団体の事業や活動にマップを活用し、日常的に利用していただけるよう周知をさらに進めていきたい。
問 坂戸市の「葉酸プロジェクト」を参考に、食を通じた総合的な健康づくり施策の推進について検討ができないか。
答 市民の皆様が、日常生活の中で負担なく食生活を改善し、適切な量と質の食事を取ることができるよう、知識の普及と行動変容に向け、どのような取り組みができるか検討していきたい。

女性活躍の推進を重点課題とした積極的な取り組み (興市会)



問 男女共同参画相談窓口の充実及び利用状況について伺う。

答 市報やホームページを活用し、利用の促進を図っている。利用状況は、平成18年度1件、19年度2件、21年度は1件になる。

要旨 相談件数がほとんどないのは、何に対する相談なのかかわからないのが原因であり、男女共同参画相談の名称を「職場悩み事相

生活保護基準の見直しと暮らしへの影響を伺う (日本共産党)



東大和市暮らし・しごと応援センター そえる

問 政府は、生活保護制度の改定案を示した。市民生活への影響や制度運用の改善について伺う。

答 国においては生活保護基準の見直しに伴い、他制度への一定の配慮等があるものと考えている。

問 市が関与する施策については、どのような方向で対応するのか、市の基本姿勢を伺う。

答 市報、ホームページにて情報提供を行っている。また、生活困窮者の総合相談窓口「そえる」と一体的な運用を図り、生活保護相談につなぐ体制をとっている。

森田 真一 (日本共産党)

市の観光事業の取り組み、教育について伺う

中村 庄一郎 (無所属)



問 市の観光の現状について伺う。

答 多摩湖等の観光資源の魅力発信について、観光ボランティアガイドや民間事業者との連携、3市1団体による狭山丘陵観光連携事業の推進に取り組んでいる。

要旨 知・徳・体、特に、徳を育てる教育が大切と考える。子ども保護者、地域が、学び、学ばせてよかつたと思える教育を要望する。

陳情の要旨

国民健康保険税の大幅値上げを行わないよう求める陳情

南街在所 全日本年金者組合 東大和支部 副支部長 辻田 治男

この陳情のほかに、同内容の陳情が1名の方から提出されています。

国民健康保険税の大幅値上げを凍結し、十分な検討と市民説明を尽くすよう求める陳情

武蔵村山市中央在所 東京土建一般労働組合村山・大和支部 執行委員長 渡辺 貞雄

この陳情のほかに、同内容の陳情が8名の方から提出されています。

要旨 6年連続で1人当たり375%もの値上げとなる東大和市国

(9ページの関連記事)

委員会での議論

厚生文教



東大和市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準に関する条例は、原案どおり可決しました。

(主な質疑)

問 これまで都条例だった本条例が市の条例として位置づけられることになった背景は。

答 今回の新設条例は、介護保険法の改正に伴い、市町村の保険者機能の強化の一環として、指定居宅介護支援事業者の指定権限が都知事から市長に移った。また、質の高い介護サービスを確保するためには、ケアプランの適正化が必須であり、これに対する指導や支援がかなめとなることから、保険者である市町村がケアマネジャーの指導や支援にかかわることができると、権限が移譲された。

東大和市介護保険条例の一部を改正する条例は、原案どおり可決しました。

(主な質疑)

問 一番所得の低い第1段階の方並びに第2段階から13段階までの方のそれぞれの人数について伺う。

答 各段階の人数については、第1段階、4197人、第2段階、1559人、第3段階、1538人、第4段階、3463人、第5

(2ページの関連記事)



段階、2559人、第6段階、2483人、第7段階、3222人、第8段階、2109人、第9段階、805人、第10段階、485人、第11段階、166人、第12段階、120人、第13段階、289人となり、合計で2万2995人になる。

問 値上げをすることが正しいということ、市民に十分な説明を

東大和市民健康保険条例の一部を改正する条例は、原案どおり可決しました。

(主な質疑)

問 国保加入者は、なぜ協会けんぽなど、ほかの被用者保険よりも負担が重くなってしまうのか。

答 加入者の年齢構成が高い、国民健康保険は協会けんぽに比較して、1人当たり医療費に大きな差がある一方で、加入者1人当たりの平均所得については、国民健康保険のほうが低く、そのため協会けんぽと比較して国民健康保険の加入者に負担が生じている。市と

する責任があるのではないかと。今計画は介護保険運営協議会の長期にわたる審議を経た上での答申を受けたものであり、市民の代表である市議会議員にも説明しているほか、計画策定に当たってはパブリックコメントや市民説明会の開催など、事前に市民への情報提供に努めた。

しては、医療費の適正化に努め、東京都全体で支え合う国民健康保険の運営の一助となるように努める。

問 赤字解消の期間を6年間としているが、根拠が乏しいのでは。

答 赤字補填の繰り入れの解消を6年とする根拠は、広域化に際し保険料の激変緩和措置の財源として、国は特例基金を設けたが、この特例基金の期限が6年であることからである。

※国民健康保険税に関する陳情は11件提出されました。委員会での審査内容は次のとおりです。

12ページの「3月議会での議案等の結果」もご参照ください。

国民健康保険税の大幅値上げを行わないよう求める陳情は、不採択としました。

(主な質疑)

問 6年連続での国民健康保険税引き上げについては、他の自治体

答 大阪府、滋賀県、奈良県、広島県では6年程度となっている。国民健康保険税の値上げを行わないよう求める陳情は、不採択としました。

国民健康保険税の大幅値上げを凍結し、十分な検討と市民説明を尽くすよう求める陳情(7件)は、不採択としました。

(主な質疑)

問 市民説明を尽くすように求めていることから、市報という一方

答 必要なものは研究していく。国民健康保険税の大幅値上げを凍結し、十分な検討と市民説明を尽くすよう求める陳情は、不採択としました。

(8ページの関連記事)

(2ページの関連記事)

建設環境



国民健康保険税の大幅値上げを凍結し、十分な検討と市民説明を尽くすことを求める陳情は、不採択としました。

登録有形文化財旧吉岡家住宅に関する陳情は、不採択としました。

(主な質疑)

問 駐車場を設置するに至った経緯と具体的な設置場所を伺う。

答 平成29年度の特別公開では前年度の2倍以上の約1400人の来園者があり、駐車場がないのか

小平・村山・大和衛生組合資源物中間処理施設に関する陳情は、不採択としました。

(主な質疑及び意見)

問 この施設建設の必要性と建設費が上がった推移について改めて確認したい。

答 平成26年9月の段階で3市共同資源物事業基本構想の中の基本計画で、類似施設、8施設の平均単価という形で13億2千万円という建設費を積算した。次に、平成28年2月の段階で実施計画を作成この中でコンサルタントによる積算ということで、18億7920万円という額を衛生組合として受けている。続いて、平成28年7月の段階で、ブランドメーカーからの提案ということで、29億円から42億円の見積もりを受けている。これを受け、業者と調整を行い、平成28年11月の補正予算の中で、組合議会に提示した25億9200万円という見積もりが出た。そして、平成28年12月の入札の段階で25億4300万円という流れになっている。施設の必要性という点については、耐用年数を迎えている焼却施設の建設更新を見据えた中での実施事業となっている。交付金の関係もあり、

性を図ったということである。

問 焼却炉の耐用年数問題は、以前からあったのではないかと。

答 過去に取り組んだが、最終的には平成33年まで延命化を行った。建設中止を求める陳情が議会

(8ページの関連記事)

設置に当たっては、現状の景観に配慮するため、駐車スペースの周りには背の高いヒイラギを植え、長屋門から母屋に向かって入ってきた方に、車が見えないようにする。

という問い合わせがふえたこと。設置に当たっては、現状の景観に配慮するため、駐車スペースの周りには背の高いヒイラギを植え、長屋門から母屋に向かって入ってきた方に、車が見えないようにする。

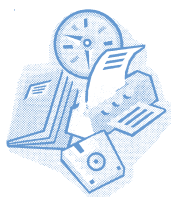
問 3市の資源物処理施設については、東大和市でいうと8万6千市民のために必要不可欠な施設だという判断、3市の34万から35万人の市民にとっても必要だという判断をしている。

意見 陳情趣旨では市税の使い方として不適当かつ妥当性に欠けるとの決議を市議会に求めているが、本来であれば市長や副市長が直接市民と向き合って話し合うべき内容であると考えられる。この施設は、本来必要のないものと主張しているが、本事業が衛生組合の事業として位置づけられ、組合議会の中で予算が成立し、当市においては都市計画審議会での議論を経て、市長が都市計画決定の手続を行った。この段階で陳情趣旨にある決

市道路線の廃止は、全会一致で原案どおり可決しました。

(所管事務調査) 「市の一般事務に係るごみ行政について」、環境部から説明を受けました。

総務



請願・陳情などの審査案件は、ありませんでした。

(所管事務調査) 「公共施設等の管理運営のあり方について」を調査するため、平成30年2月7日に神奈川県秦野市を視察しました。

同年3月7日には、「市の防災及び防犯対策のうち総務部の所管に関すること」を総務部から、「公共施設等の管理運営のあり方について」を企画財政部から、それぞれ説明を受けました。また、2月7日行った秦野市の視察について委員間で自由討議も行いました。

一部事務組合議会報告

昭和病院企業団議会

昭和病院企業団は、公立昭和病院の運営を行うため、小金井市、小平市、東村山市、東久留米市、清瀬市、東大和市、西東京市の7市で組織しています。

◇企業団議会議員

尾崎 利一 東口 正美

○平成29年第2回定例会

〔開催日〕 平成29年11月27日

〔審議事項〕

- ・平成29年度昭和病院企業団病院事業会計補正予算(第1号)
- ・平成28年度昭和病院企業団病院事業決算の認定について

ほか

○平成30年第1回定例会

〔開催日〕 平成30年2月23日

〔審議事項〕

湖南衛生組合議会

湖南衛生組合は、し尿処理場の運営を共同で行うため、武蔵野市、小金井市、小平市、東大和市、武蔵村山市の5市で組織しています。

◇組合議会議員

大后 治雄 佐竹 康彦

○平成29年第2回定例会

〔開催日〕 平成29年11月17日

〔審議事項〕

- ・平成28年度湖南衛生組合歳入歳出決算の認定について
- ・平成29年度湖南衛生組合歳入歳出補正予算(第1回)

○平成30年第1回定例会

〔開催日〕 平成30年2月13日

〔審議事項〕

- ・平成29年度湖南衛生組合歳入



昭和病院企業団

- ・平成29年度昭和病院企業団病院事業会計補正予算(第2号)
- ・平成30年度昭和病院企業団構成市分賦金の額の決定について
- ・平成30年度昭和病院企業団病院事業会計予算 ほか



湖南衛生組合

- ・平成29年度湖南衛生組合歳入歳出補正予算(第2回)
- ・平成30年度湖南衛生組合組織市の分担金の額について
- ・平成30年度湖南衛生組合歳入歳出予算

小平・村山・大和衛生組合議会

小平・村山・大和衛生組合は、ごみ処理施設の設置・運営等を行うため、小平市、東大和市、武蔵村山市の3市で組織しています。

◇組合議会議員

森田 真一 関田 貢

根岸 聡彦 中野志乃夫

○平成29年11月定例会

〔開催日〕 平成29年11月21日

〔審議事項〕

- ・平成28年度小平・村山・大和衛生組合一般会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成29年度小平・村山・大和衛生組合一般会計補正予算(第2号)

○平成30年2月定例会

〔開催日〕 平成30年2月16日

〔審議事項〕

- ・平成29年度小平・村山・大和

東京たま広域資源循環組合議会

東京たま広域資源循環組合は、一般廃棄物の最終広域処分場の設置・管理等を行うため、多摩地域25市と瑞穂町で組織しています。

◇組合議会議員

中村庄一郎

○平成29年第2回定例会

〔開催日〕 平成29年10月30日

〔審議事項〕

- ・平成28年度東京たま広域資源循環組合一般会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成29年度東京たま広域資源循環組合一般会計補正予算(第1号) ほか

○平成30年第1回定例会

〔開催日〕 平成30年2月21日

〔審議事項〕

- ・東京たま広域資源循環組合職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例



小平・村山・大和衛生組合

- 衛生組合一般会計補正予算(第3号)
- ・平成30年度における小平・村山・大和衛生組合を組織する市の分担金額について
- ・平成30年度小平・村山・大和衛生組合一般会計予算 ほか



東京たま広域資源循環組合

- ・平成29年度東京たま広域資源循環組合一般会計補正予算(第2号)
- ・平成30年度東京たま広域資源循環組合一般会計予算
- ・平成30年度東京たま広域資源循環組合負担金 ほか

協議会報告

三多摩上下水及び道路建設促進協議会

三多摩上下水及び道路建設促進協議会は、三多摩地区の上下水道、道路建設に関する調査研究を行い、その結果を実現するための活動を行うため、三多摩地域全市町村議会の代表で組織しています。

第1委員会(下水道)

◇第1委員会委員長 実川 圭子

○第2回正副委員長会議

〔開催日〕 平成30年1月25日

〔協議事項〕

- ・平成29年度第1委員会報告書(案)について
- ・平成30年度第1委員会運動方針(案)について
- ・平成30年度第1委員会の役員について ほか

○第2回第1委員会

〔開催日〕 平成30年2月1日

〔協議事項〕

- ※正副委員長会議と同内容のため省略
- 第2委員会(下水道)

○第2回第2委員会

〔開催日〕 平成30年1月29日

〔協議事項〕

- ・平成29年度第3委員会報告書(案)について
- ・平成30年度第3委員会運動方針(案)について ほか

広域連合議会報告

東京都後期高齢者医療広域連合議会

広域連合議会は、東京都62区市町村議会の議員から選ばれた31名で構成され、任期は2年と規定されています。

◇広域連合議会議員 関田 正民

○平成29年第2回定例会

〔開催日〕 平成29年11月24日

〔審議事項〕

- ・平成28年度東京都後期高齢者

医療広域連合一般会計歳入歳出決算の認定について ほか

○平成30年第1回定例会

〔開催日〕 平成30年1月31日

〔審議事項〕

- ・平成30年度東京都後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計予算 ほか

議長が出席した会議

東京都議会議長会

- 11月理事会
〔開催日〕 平成29年11月21日
〔協議事項〕
・各市提出議案について ほか
- 2月理事会
〔開催日〕 平成30年2月19日
〔協議事項〕
・各市提出議案について ほか
- 11月定例総会
〔開催日〕 平成29年11月21日
・各市提出議案について ほか
- 2月定例総会
〔開催日〕 平成30年2月19日
〔協議事項〕
・関東市議会議長会第84回定期総会で審議する都県提出議案について ほか

監査委員の活動内容

- 監査委員は、主として地方公共団体の財務に関する事務の執行及び地方公共団体の経営に係る事業の管理を監査するために、地方公共団体に設置された独任制の執行機関です。
- 定期監査や例月出納検査のほか、決算及び基金運用状況に関する審査等を行います。
- ◇監査委員 床鍋 義博(議会選出)
 - ◇開催日及び内容
 - ▽10月24日 例月出納検査
 - ▽10月27日 定期監査(環境部)
 - ▽11月10日 定期監査(工事監査)
 - ▽11月17日 東京都監査委員会第1回研修会
 - ▽11月28日 定期監査(環境部) 講評、例月出納検査
 - ▽12月26日 例月出納検査、指定管理者監査
 - ▽1月26日 東京都監査委員会第2回研修会
 - ▽1月30日 指定管理者監査講評、例月出納検査
 - ▽2月6日 定期監査(都市建設部・学校教育部)
 - ▽2月19日 例月出納検査
 - ▽3月27日 定期監査(都市建設部・学校教育部) 講評、例月出納検査

市議会の傍聴時に手話通訳をご利用いただけます。

本会議及び委員会などにおいて、手話通訳を配置することができます。

聴覚障害のある方で、手話通訳を希望される方は、傍聴を希望する日の1週間前までに、日程(午前・午後)・氏名・連絡先のファックス番号を明記し、ファックスにより議会事務局までお申し込みください。
議会事務局ファックス番号
042-563-5926



青森県三沢市行政視察

topics あれこれ

防災フェスタに合わせ 議員参集訓練を実施

東日本大震災発生から7年が経過する3月11日に、都立東大和南公園において、「東大和防災フェスタ2018」が開催されました。その日は市内一斉避難訓練が行われ、当市議会においても、議員参集訓練を実施しました。

各議員は、市内の危険箇所を把握しながら、広域避難場所である都立東大和南公園まで徒歩や自転車などで参集しました。

三沢市議会が行政 視察で来訪

平成30年2月5日に青森県三沢市議会拓心会が、行政視察に当市を訪れました。視察目的は、「シティプロモーションについて」で企画財政部副参事、企画課職員が東大和市ブランド・プロモーション指針等について説明しました。

友好都市福島県喜多方市へ 市議会議員団が交流訪問

3月25日(日)・26日(月)の二日間に行われ、議長他10名の議員が、喜多方市(議会)を訪問しました。

25日には、両市議会議員による交流会を開催していただき、また26日には、山都町で開催された「福寿草まつり」を訪問し、地域の文化などに触れることにより、両市(議会)の交流をさらに深めました。



福島県喜多方市交流訪問

東京都議会議員 研修会に出席

東京都議会議長会主催の第56回東京都議会議員研修会が、2月8日、府中の森芸術劇場どりーむホールにおいて開催され、当市議会議員も出席しました。

講師に、(株)日本総合研究所首席研究員、(株)日本政策投資銀行地域企画部特任顧問、特定非営利活動法人Compus地域経営支援ネットワーク理事長の藻谷浩介氏(もたにこうすけ)を迎え、「これからの観光振興と商店街の活性化」各地の成功・失敗事例から多摩地域が学ぶこと」と題した講演を受講しました。

常任委員会行政視察報告

厚生文教委員会

- 日程
2月6日～7日
- 調査項目
○大阪府堺市
・子育て世代包括支援センターについて
- 奈良県奈良市
・地域で決める学校予算事業について



厚生文教委員会行政視察

市議会だよりの表紙を飾る写真を募集中!!

【採用作品】



260号(平成29年11月1日発行)
「ハッピーハロウィン♪」



261号(平成30年2月1日発行)
「つるしびな」

市内で撮った写真であれば、どなたでも応募できます。

【募集要項】

- 撮影者自身に著作権のある未発表・未公開のオリジナル作品(横構図のカラー写真)を募集しています。
- 作品は議会事務局にて随時募集しています。(市内、市外在住は問いません)
- 人物が明らかに特定できる場合は、ご本人に了承を得てください。
- 応募作品は原則としてお返しできませんので、ご了承ください。
- 採用作品の著作権は、市議会に帰属します。
- 詳しくは、下記までお問い合わせください。

〈送付・問い合わせ先〉

東大和市議会事務局 庶務調査係

(電話) 042-563-2111

(内線2002)

閉会中に行われた会議

- <12月>
19日 ○議員全員協議会
<1月>
15日 ○議会運営委員会
17日 ○広報委員会
<2月>
8日 ○議員全員協議会
9日 ○広報委員会
19日 ○議会運営委員会

議長・議員が出席した会合等

- <12月>
26日 ○監査委員例月出納検査
<1月>
23日 ○東京都三多摩地区消防運営協議会役員会
東京都三多摩地区消防運営協議会第二部会
29日 ○三多摩上下水及び道路建設促進協議会
第3委員会
30日 ○監査委員例月出納検査
○三多摩上下水及び道路建設促進協議会
第2委員会
31日 ○第1回東京都後期高齢者医療広域連合議会
定例会
<2月>
1日 ○三多摩上下水及び道路建設促進協議会
第1委員会
8日 ○東京都市議会議員研修会
13日 ○第1回湖南衛生組合議会定例会
16日 ○小平・村山・大和衛生組合議会2月定例会
19日 ○東京都市議会議長会理事会
○東京都市議会議長会定例総会
○監査委員例月出納検査
21日 ○第1回東京たま広域資源循環組合議会定例会
23日 ○昭和病院企業団議会第1回定例会

6月議会の予定

※通常、開会時間は午前9時30分です。

Calendar table for June sessions with dates and activities like '正午/初日付託分請願・陳情受付締切' and '午前/議会運営委員会'.

※日程は5月31日に開催される議会運営委員会で正式決定されるため、変更する場合があります。決定次第、市公式ホームページへの掲載及び公共施設への掲示を行います。

市議会公式ツイッターでは、本会議での各議員による一般質問の日程情報を発信しています。ぜひ、参考にしてください。 (Includes a vegetable mascot illustration)

3月議会での議案等の結果

Main table showing results of 3rd session proposals. Columns include '件名', '会派名・会派人数', and '結果'. Lists various proposals like '市長提出案件 40件' and '委員会提出案件 1件'.

上記の会派人数は、所属議員数です。ただし、自由民主党・無所属の会については押本議長を除いた人数です。
会派名略称：公…公明党【中間、東口、佐竹、木戸岡、荒幡】 自・無…自由民主党・無所属の会【関田(正)、蜂須賀、根岸、和地】 共…日本共産党【尾崎、森田、上林】 興…興市会【大后、二宮、関田(貢)】 や…やまとみどり【床鍋、中野】
会派 無所属：無①…無所属(生活者ネットワーク)【実川】 無②…無所属(自由民主党)【中村】
※会派 無所属の()内は所属政党名等です。
結果：可…原案可決 否…否決 不…不採択 報…報告 適…適任 賛否：○…賛成 ×…反対

6月議会は6月5日に開会予定 次号の市議会だよりは8月1日発行予定